

2025 年 3 月 14 日

各位

上場会社名	DIC株式会社
代表者	代表取締役社長執行役員 池田 尚志
(コード番号	4631)
問合せ先責任者	コーポレートコミュニケーション部長 小峰 浩毅
(TEL	03-6733-3033)

ISS 社レポートに対する当社の見解について

当社が、2025 年 3 月 27 日開催予定の第 127 期定時株主総会に上程する「第 2 号議案 取締役 9 名選任の件」につきまして、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services, Inc.（以下、「ISS 社」）が、候補者番号 1 番の猪野薫氏の選任に反対する旨のレポートを発行しました。

ISS 社のレポートに対して、下記の通り、当社の見解を説明させていただきます。株主の皆様には、当社定時株主総会招集通知および当社見解をご確認いただき、当該議案へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. ISS 社の反対推奨について

ISS 社は、猪野薫氏の取締役選任に反対推奨をする理由について下記の通り述べています。

- ・ 現会長である猪野薫氏が社長であった期間（2018 年 1 月から 2023 年 12 月まで）の業績が低迷したこと。
- ・ 当社が保有する美術品の市場価額について、1,000～2,600 億円と仮定した上で、将来的に美術品の売却から得られるキャッシュの用途が不明確であり、株主に対するキャピタルアロケーションの説明が不足していること。

2. 当社の見解について

当社の 2024 年度業績は、下記の表に記載の通り、前年から大幅に改善しました。2026 年度に営業利益の最高益を更新するという目標に向けて順調に推移しております。猪野薫氏は、社長時代に先行投資を通じて既存事業の質的転換を図り、不採算事業の整理も断行し、これら各種施策を手掛けることによってポートフォリオ転換及び業績を大幅に改善するための礎を築きました。現在は取締役会長として、当社グループ経営全般の監督にあたり、独立社外取締役が過半数を占め、独立社外取締役が委員長を務める役員指名委員会において審議・検討を行った結果、取締役候補者となりました。

当社業績の推移

	2022 年（実績）	2023 年（実績）	2024 年（実績）	2025 年（計画）
売上高	10,542 億円	10,387 億円	10,711 億円	11,100 億円
営業利益	397 億円	179 億円	445 億円	480 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	176 億円	△399 億円	213 億円	240 億円
ROE	4.8%	△10.6%	5.6%	6.0%

また、ISS 社は当社が保有する美術品の時価について、1,000～2,600 億円との推測を記載していますが、その根拠については「様々な情報筋」と述べるのみで明確に示されておりません。当社では美術品の価値を把握した上で取締役会における美術館運営見直しの議論を進めておりますが、その特殊な市場性や不確実性を鑑みて、保有する美術品全体の価値として一定の金額を示すことは適切でないと判断して開示をしておりません。しかし、株主の皆様をはじめとするステークホルダーに向けて、現時点で想定される美術館運営の見直しに伴う定量的な情報を開示することは必要であると考え、当社保有の美術品数を 1/4 程度に縮小することとし、その対象から外れる美術品の売却に着手し、2025 年度中に少なくとも 100 億円程度のキャッシュインを目指す方針を発表しました。また、美術品売却によって見込まれるキャッシュインを含めて資金をどのように配分するかは、2024 年 2 月に発表したキャッシュ・アロケーション方針に従って決定されることになり、株主還元にも充当してまいります。

当社のキャッシュ・アロケーション方針や美術館運営の見直しに関するこれまでの開示状況は、下記の通りです。今後も、当社は、ステークホルダーからの正しい理解と信頼を得るために、当社グループの経営方針を適時適切に開示していきます。

キャッシュ・アロケーション方針や美術館運営の見直しに関する開示状況

2024 年 2 月 13 日	「長期経営計画『DIC Vision 2030』の見直しに関するお知らせ」 2024 年～2026 年のキャッシュ・アロケーション方針を発表
2024 年 4 月 26 日	「価値共創委員会の設立および運営開始に関するお知らせ」 価値共創委員会で美術館運営の見直しを審議することを発表
2024 年 8 月 27 日	「価値共創委員会による『美術館運営』に関する助言並びにそれに対する当社取締役会の協議内容と今後の対応についての中間報告」 価値共創委員会における審議結果としての助言内容と、当該助言を受けた取締役会で協議、決定した今後の対応に関する中間報告について発表
2024 年 9 月 27 日	「社外取締役と株主（機関投資家）との対話」 社外取締役が株主（機関投資家）に対して価値共創委員会での議論の内容を説明するためのミーティングを開催し、その内容をウェブサイト上で開示
2024 年 12 月 26 日	「『美術館運営』見直しの検討結果並びに今後の美術館運営に係る方針についての最終報告」 取締役会で決定した方針を最終報告として発表

2025 年 2 月 12 日	「2024 年 12 月期決算説明資料」 美術品売却によるキャッシュインを含めたキャッシュ配分について報告
2025 年 3 月 12 日	「DIC と国際文化会館がアート・建築分野を起点とする協業に合意」 美術館を東京・六本木の国際文化会館へ移転することを発表

以 上